

全国安全週間 社長安全パトロール実施される

戸田建設（社長：井上舜三）は、全国安全週間の初日にあたる7月1日、「都水道朝霞浄水施設築造2作業所」（埼玉県朝霞市）にて社長による安全パトロールを実施しました。トップ自ら率先して作業所の安全点検を行い、安全管理の重要性を全職員に発信することにより、自社の安全文化の醸成を図るもので、同週間のスローガンである「安全は 家族の願い 企業の礎 創ろう 元気な日本!」を実践するものです。

朝礼では「ラジオ体操」、緊張をほぐしコミュニケーションを高める「肩たたき・肩もみ」に続いて、当社が7年前から継続している「一人KY活動」の実施状況を確認しました。この活動は、一人ひとりがその日の作業について、事故・災害につながりかねない危険な要素をイメージの中で見つけ出し、予め対策を考えて作業にあたるというもので、危険に対する感受性を高め、緊張感を持って作業に臨めるという効果が期待できます。

朝礼時の挨拶の中で井上社長は「現場の安全は、集中力が大事。安全のABCは『当たり前のこと』を『ボンヤリしないで』『ちゃんとやれ』。当たり前の仕事を、集中して行えばちゃんどできるものが、よそ見や、他のことを考えて作業をするとケガをする。」また、「一人作業をできるだけしない。労働災害の大半は、一人作業が原因である。常に二人一組でお互いに監視しながら作業を行えば、労働災害は100%防げると思う。」さらに「建設会社は最も生活に密着した産業である。我々がしっかり働かないと日本国自体が成り立たない。」と訴えました。

続いて行われた作業場の安全点検では、「墜落・転落災害の防止」について、開口部ゼロ運動の実施状況について確認しました。また、「建設機械・クレーン災害の防止」については、搬出入車両の動線や遵守状況、飛来・落下災害の防止対策の実施状況を点検、重機との接触防止を厳しく指示しました。



朝礼で訓示を行う井上社長



作業場点検の様子